

## カテコールアミン製剤の併用（ノルアドレナリン、アドレナリン、ドパミン、ドブタミン、イソプレナリン）（併用禁忌）について 【情報公開】

急性非代償性心不全や敗血性ショックの治療のために、カテコールアミン製剤（ノルアドレナリン、アドレナリン、ドパミン、ドブタミン、イソプレナリン）を併用することがあります。一部のカテコールアミン製剤の添付文書には、他のカテコールアミン製剤との併用について、不整脈や心停止を引き起こすおそれがあるため「禁忌」と記載されていますが、国内外においては、必要な場合には使用することが有効とされています。

本治療の実施について、各患者さんにご説明して同意をいただく代わりにお知らせをしています。詳しくは以下をお読みください。

この治療について拒否される場合やご質問がある場合は、担当医師、または下記の問い合わせ先へご連絡ください。

対象	当院において、循環動態維持のためノルアドレナリンと他の注射用カテコールアミン製剤の併用が必要と医師が判断した方
目的・概要	ノルアドレナリンと他の注射用カテコールアミン製剤の併用は、急性非代償性心不全や敗血性ショック時に循環動態を維持し、重症患者さんの救命に繋がります。国内外の診療ガイドラインでも必要な場面での投与が有効とされています。これらの医薬品の併用は、不整脈や心停止を引き起こすおそれがあるため、併用禁忌とされていますが、これまでの知見では、併用による有害事象のリスク増加は限定的と考えられています。そのような現状を踏まえ、当院では、医師が併用を必要と判断した場合、その使用を認めます。
実施期間	承認日（2026年2月19日）から見直しが必要となるまで
使用条件	投与中は心電図モニターを装着し、不整脈や心停止等の有害事象の兆候を早期発見、対応ができる体制で実施します。
予想される不利益	不整脈や心停止等の有害事象が生じる可能性があります。
予想される不利益への対策	使用条件を遵守することで、不整脈や心停止等の有害事象の兆候が認められた際は、必要な対応を遅滞なく実施します。
費用および補償	この治療は通常の保険診療の範囲で行われます。したがって、一定割合の患者負担が生じます。適応外使用による副作用などが生じた場合、原則として「医薬品副作用被害救済制度」の対象外となります。

この治療（禁忌）を行うことは、高難度新規医療技術審査委員会にて審議され、医療安全管理部 医薬品安全管理部門にて承認されています。

### ◆問い合わせ先

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 185-1

高知大学医学部附属病院 薬剤部

（担当部署：医療安全管理部 医薬品安全管理部門）

電話番号：088-866-5811(病院代表)